

鳥栖みらい共創会議

基本方針

鳥栖みらい共創会議

議長 上田 成晃

鳥栖青年会議所は1959年の設立から65年という長い歴史を歩み、現在はリーダーシップを開発する組織となり、個人としてはもちろん地域の中においてもその存在感を発揮する団体でなくてはなりません。全国的に青年会議所の会員減少が続いている中でも65年という先輩諸氏が築き上げて来られた歴史に感謝し、地域住民や各団体と連携しながらより良い地域を共創し、地域変革のリーダーとして寄与していく必要があります。

まずは、これからの鳥栖青年会議所の未来に向けた発展のために、今までの運動指針や運動宣言に沿った活動実績と日々変わりゆく生活様式の変化や国際情勢、地域環境も見据えて、今後の鳥栖青年会議所の運動方針を策定することで、全会員の意識統一を図ります。そして、鳥栖青年会議所を65年間支えていただいた諸先輩方や地域の方々に対する感謝を伝えるために、5年間の運動や活動を振り返り、その歴史を伝える創立65周年式典を開催することで、会員一人ひとりが鳥栖青年会議所の存在意義を再認識し、会員の意識統一を図ります。さらに、地域住民一人ひとりが住み暮らすまちを愛するより良いまちの実現のために、次世代を担う青少年や他団体を巻き込み地域愛を醸成する創立65周年事業を行うことで、会員含め事業に参加した人々が一致団結し、ともに更なる地域の発展の機会とします。また、メンバー一人ひとりが能動的に行動して地域を牽引するリーダーとなるために、メンバー全員が役割と責任をもちそれぞれが協力をして創立65周年式典と記念事業を創り上げることで、会員一人ひとりの資質向上と意識統一を図る機会とします。

鳥栖青年会議所が65年間受け継がれてきた想いにメンバー一人ひとりが感謝するとともに、その想いを受け継ぎ、JAYCEEとしてさらに成長することで、信頼されるリーダーとして多くの団体や地域住民とともに、愛が溢れる新しいみらいを生み出します。

<事業計画>

1. 未来を見据えた運動方針の策定
2. 感謝の心を伝える創立65周年式典の実施
3. 成長と発展の機会となる創立65周年記念事業の実施
4. 式典・記念事業による全会員の資質向上
5. 全会員による会員拡大